

隠密まち歩き ～未来をつくった水辺の脱出路編～

名古屋城の緊急時に備え、名古屋城から北区を通って、
定光寺(瀬戸市)へ行く**脱出ルート**が決められていました。
航路として開拓され、染色業の発展を支えた黒川、
脱出路と想定されていた御用水、2つの水辺を歩いてみませんか。

赤いルート…H29.3.4に実施した
まち歩きルート(距離 約2.3km)
黒川駅スタート、友禅工房ゴール
所要時間30分～1時間

大聖山 安栄寺

名古屋城の鬼門除けとして、
城から大聖不動明王が
奉還されている。

兒子八幡社

通称兒子宮(ちごのみや)。
虫封じの神として信仰が深い

地下鉄名城線
黒川駅

北清水親水広場

かつて名古屋と犬山を
行き来する船の船溜まり
だった。

染色業

明治40年頃から、黒川のきれいな
水により盛んになった。
黒川では染物の糊落しもしていた。

渡邊染工場

名古屋型友禅の工房

御用水跡街園

1663年庄内川の水を、名古屋城の
お堀にひく目的で御用水がつけられた。
その御用水を埋め立ててつくった街園。